

絶望の先に本当の希望があった。

# 世界で いちばん美しい村

ネパール大地震の震源地に向かった写真家が出会ったのは

愛と祈りと絆で結ばれた

世界でいちばん美しい人々が住む村だった

写真家石川梵 初監督作品

監督・撮影：石川梵 ナレーター：倍賞千恵子

エグゼクティブプロデューサー：広井王子 プロデューサー：石川梵

編集：夔輪広二 編集協力：道正由紀 音楽：Binod Katuwal \*はなおと\*

オフィシャルサポーター：関野吉晴 野口健 栗城史多 高橋ツトム 安田菜津紀 佐藤利明 宮崎学 竹沢うるま 田口ランディ 岡本有子

協力：松竹 Canon Cinema Sound Works 後援：ネパール大使館 配給：太秦

©Bon Ishikawa

2016年 | 日本 | DCP | ドキュメンタリー | 108分

[himalaya-laparak.com](http://himalaya-laparak.com)



120895



# 大地震を乗り越えて、強く生きる。 家族と人々の絆を感じるあたたかな日常。

そこには、忘れていた人間本来の生き方があった。

2015年4月、約9000人の犠牲者を出したネパール大地震。写真家・石川莞は震災直後、ジャーナリストとして初めて現地へ入り、ヒマラヤ奥地の震源地・ラブラック村にたどり着いた。壊滅した村で石川はひとりの少年と出会った。澄んだ瞳をした、14歳のアシユバドル。彼の村を想う気持ちに石川もまた思いを寄せ、別れ際、二人はふたつの約束をした。ひとつは、また村に戻ってくること。そしてもうひとつは、この孤立した村の惨状を世界に伝えること――。

貧しくても明るい家族、子どもたちの輝く眼差し、寄り添うように生きる村人たち、そして祈り。



監督は、写真家でありノンフィクション作家の石川莞。これまでに「伊勢神宮、遷宮とその秘儀」「海人」「The Days After 東日本大震災の記憶」など多くの作品を手がけてきた。そして2015年、大地震直後のネパール取材したことをきっかけに本作にて自身初のドキュメンタリー映画を製作した。ナレーションは、東日本大震災からいまなお、復興活動に参加する女優、倍賞千恵子。壮大なヒマラヤを背景に圧倒的な映像美とカメラワークで綴った叙事詩的物語。



## ゴルカ郡ラブラック村

ネパールの首都カトマンズから北西77キロ地点にある。その至近距離に位置するゴルカ郡ラブラック村は、標高2200メートルの傾斜地にあり、その人口は約4,000人。現在は、震災の影響により、地盤が緩み、生活が困難になってしまったため村人の大半はグブシ・バカと呼ばれる、徒歩で1時間半登った標高2700メートルの高地でキャンプ生活を送っている。



世界でいちばん美しい村

監督・撮影：石川莞 ナレーション：倍賞千恵子 エグゼクティブプロデューサー：広井王子 プロデューサー：石川莞 編集：奥輪広二 編集協力：道正由紀 音楽：Binod Katuwal \*はなもと\*  
 オフィシャルサポーター：関野吉晴 野口健 栗城史多 高橋トトム 安田菜津紀 佐藤利明 宮崎学 竹沢うるま 田口ランディ 岡本有子  
 協力：松竹 Canon Cinema Sound Works 後援：ネパール大使館 配給：太秦 ©Bon Ishikawa 2016年 | 日本 | DCP | ドキュメンタリー | 108分 himalaya-laparak.com

